



# シーニックバイウェイ北海道 東オホーツクシーニックバイウェイ



青木 伸仁 (あおき のぶひと)

東オホーツクシーニックバイウェイ  
層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイルートコーディネータ  
(一社)北海道開発技術センター首席研究員

1968年旧門別町生まれ。入社後、2011年にシーニックバイウェイ北海道「東オホーツクシーニックバイウェイ」、2013年に「層雲峡・オホーツクシーニックバイウェイ」のルートコーディネータを担当。ルート内の地域資源の知識を深め、人との交流を図りながら、地域活動に関する企画提案などの支援を行っている。

## ロマンティック・ヒーリング・風を感じて走る道

シーニックバイウェイ北海道の制度が開始された2005年に指定ルートに認定された「東オホーツクシーニックバイウェイ」は、網走市、大空町、美幌町、小清水町、斜里町のエリアで活動を行っている歴史あるルートです。知床世界自然遺産や阿寒国立公園を有し、広大な畑地景観、野趣あふれる山岳、ハクチョウが飛来する湖沼、原生花園、豊富な味覚、明瞭な四季、わが国唯一の流水地帯など、北海道観光の良さが凝縮されている地域です。

これらの資源が人々の心を潤し、ロマンと感動を与えてくれる憧れの地となること、晴れやかで静穏な気候ゆえ、爽やかな風を感じるドライブを満喫してほしいという想いから、ルートテーマは「ロマンティック・ヒーリング・風を感じて走る道」となりました。

## 実際に香りと温度を感じる絵画

当ルートのシーニックデッキは、地域ならではの美しい景観をもっと楽しめる視点場に、ウッドデッキを設置し、青空の下、「風を感じながら」休憩できる視点場づくりの取り組みです。全道14ルート、28カ所のシーニックデッキのうち、当ルートでは現在9カ所のシーニックデッキを5月～9月まで設置しており、力を入れた取り組みであるとともに、当初は他ルートのモデル的な役割も担っていました。

私が当ルートをドライブして、特に感じるのは、流水の恩恵を受けた、オホーツクブルーの抜けるような青空や海、それとの、雄々しい山、茶や緑の畑地景観、キガラシやヒマワリ、芝桜等との色の調和と対比の素晴らしさです。「実際に香りと温度を感じる絵画」これが私の第一印象です。観光客からも特に緩やかにうねる畑地景観はヨーロッパ的とも称されています。

そんな固有の景観の良さが、当ルートの最大でオンリーワン資源だと地域の方は当初から十分すぎるほど認識し、この活動に力を入れていたと思います。また、個人的には都市間距離の長い当ルートにおいて、ロングドライブによる居眠り運転等の低減にも寄与しているものと思っています。



コスモスロードシーニックデッキ  
(清里町)

## 農商工との連携・PR

シーニックデッキの整備に伴い、「せっかく休憩していただいている来訪者にルートの味覚を味わってもらい、売上を基に事業拡大し、農商工者との連携を深めてはどうか」という気運が高まりました。そこで平成20～21年に、清里町上斜里フラワーロード駐車帯シーニックデッキ（道道1115号沿い）で、ルート内の新鮮な農作物、加工特産品販売を試験的に実施しました。農産物に特化したのは、全国ブランドの海産物に少しでも近づくために地元農産物の良さを知ってもらいたいという想いがあったのだと思います。各年、延べ500名が来訪し、出店した農商工者の売り上げもまずまずで、来訪者、出店者双方の好感触を得ました。しかし、エリア内に住んでいる来訪者も多かったため、隣接するシーニックデッキの利用が想定より少なかったことが課題として挙げられました。そこで、農産品販売は、シーニックマルシェとして、平成23年から、良好な景観を有し、域外観光客にも利便性が良い道の駅を中心にシーニックデッキの開催時に一時移転し、開催しています。

このマルシェと、当初から力を入れていた沿道清掃、植栽の活動の継続から、地域で「シーニック」というと、「ああ、あの活動ね」と理解してくれている人が非常に多く感じます。マルシェは当初に比べ、出店者数で1.4倍、来場者数で5.2倍に拡大しています。

## ガードレール除雪ボランティア

冬の流水景観はかけがえのない資源です。斜里町ウトロでは除雪した雪が壁となり、車窓から流水が見えない状況でした。「では、自分たちで除雪しよう!」と斜里町ウトロでは、ボランティアによるガードレール除雪を平成19年から毎年2月上旬に実施しています。ボランティアには、住民は元より道路管理者や地元企業も参加し、官民双方がウインウインの関係により道路整備・維持管理を行う「地域協働型インフラ整備」のモデル的な取り組みとなりました。また、2013ベストシーニックバイウエイズプロジェクト部門賞を受賞しました。



シーニックマルシェ（ウトロ）



ガードレール除雪ボランティア（ウトロ）

## Good Road（走行中に景観が素晴らしい道）

私がおススメするGood Road（走行中に景観が素晴らしい道）を紹介します。

### ① 国道334号

山側の荘厳なオシンコシンの滝と真近のオホーツク海、遠方の岬。冬期も一部ガードレール除雪を行っており、車窓から流水を楽しめます。

### ② 道道246号→道道490号→市道→国道39号

通称「感動の径」。黄金色に輝くビール麦畑、白い花が風に揺れるじゃがいも畑、緑萌えるビート畑、黄色が鮮やかなオランダキカラシの畑、濤沸湖、知床連山等多様な景観が楽しめる周遊ルートです。

### ③ 国道244号

汽水湖である濤沸湖の砂州を抜ける道です。濤沸湖と斜里方面に向かっての斜里岳、ウナベツ岳の対比が楽しめます。

## おわりに

当ルートの活動メンバーはみなさん穏やかですが、情熱とホスピタリティにあふれ、人との出会いを大切にされる方ばかりです。こうした人との出会いも旅の楽しみに加えていただき、当ルートにお越しいただければ幸いです。



① オシンコシンの滝駐車帯～弁財岬（オシンコシンの滝）



② 大空町女満別昭和～網走鱒浦ビューポイントパーキング（いもの花）



③ 網走市北浜白鳥展望公園入口～小清水町浜小清水浦土別入口（濤沸湖周辺）